

鹿児島県内の小規模事業場における過重労働及びメンタルヘルス対策の実態とその活動の支援策に関する調査研究

主任研究者 鹿児島産業保健推進センター所長 川元 孝久
共同研究者 同センター産業保健 特別相談員 富永 秀文
共同研究者 同センター産業保健特別相談員 岡村 俊彦・他

I はじめに

鹿児島県内の事業場の企業規模は、そのほとんどが労働者数50人未満の中小企業が占めている（その占め方は97%とも、98%とも云われる?）。そこで、今回、50人未満の中小企業における、事業場の職場環境や、そこで働いている労働者を取り巻く就労環境が、どのような状況にあるかを調査して、今後の中小企業の職場環境改善や、そこで働いている労働者の心身の健康の保持増進を図ることを目的とした。

II 調査対象者

当推進センターが、把握している労働者数が30～50人未満の事業場約1000件余の事業主、およびこれらの事業場で働いている労働者を対象にした（労働者の選択は事業主に1ヶ所当たり5～6名を依頼する）。

III 調査内容および調査期間

1、調査内容

事業主については、事業所の所在地、会社の規模、勤務体制（時間外労働等）、従業員の健康状態、健康診断の有無、メンタルヘルス対策などを記入した調査票を、労働者については、労働者の性別、年齢、時間外労働の有無、労働者自身の健康状態、健康診断の受診状況、睡眠時間、労働者の疲労蓄積度自己診断チェックリストなどを記入した調査票を配布した。調査票の回収は、事業主からは直接当推進センターに、労働者からは事業主を介しないで直接当推進センターに送付できるように、それぞれ返信用の封筒を調査票と一緒に配布した。

2、調査期間

調査期間は、平成17年9月の概ね1ヶ月間とした。

IV 調査結果

1、事業主について

調査票を配布できたのは989件で、そのうち当推進

センターに返送されてきたのは384件であったが、記入内容等に不備なものがあり、368件について集計した。

時間外労働（1日に2時間以上）は、「毎日ある」が49～20人規模の事業所の7～5%に認められ、9人以下規模では9事業所中2ヶ所（22%）に認められた。また「週に3～4日以上ある」は、10～17%の事業所に認められた。（表1）

健康診断は、95%の事業所が何らかの形で実施していたが、従業員の健康状態は、入院中の者が8%、通院中の者が43%、観察中の者が10%の事業所に認められ、元気に働いている者は40%弱であった。（表2）

不安や悩みなどの心のメンタルヘルス対策を、少しでも実施している事業所は約1/3で、残りの2/3は対策を全く実施していなかった。（表3）

2、労働者について

労働者への調査は、対象者の選択を事業主に依頼し、労働者1,835人から調査票の回収ができた。そのうち、記入内容等の不備なもの29人を除いた1,806人について集計をした。

時間外労働（1日に2時間以上）については、「毎日ある」が10%、また「週に3～4日以上ある」を含めると22%に認められたが、40%弱は「ほとんどない」と答えていた。（表4）

また、労働者の健康状態は、治療中の者が7%、最近疲れやすいと答えた者が37%、元気な者は半分の53%であった。一方、健康診断を毎年受けている者は90%で、健康診断の結果は要治療の者が7%、要精密の者が10%、要指導の者が18%、正常は60%であった。（表5、表6）

一方、自覚症状は、50歳代までは年齢の間に大きな

差を認めなかった。

自覚症状と勤務状況の関係を調べてみると、勤務状況の負担が強いほど自覚症状を訴える割合が増える傾向にあった。(有意差あり：P<0.01、表7)

表1. 勤務体制（時間外労働）と規模別事業所数

	49～	39～	29～	19～	9～	計
①毎日ある	10	8	4	2	2	26
②週に3～4日以上	23	21	7	2	1	54
③週に1～2日ある	46	35	24	7	2	114
④月に1～2日ある	37	41	25	5	0	108
⑤ほとんどない	24	16	9	2	3	54
無回答	3	3	4	1	1	12
	143	124	73	19	9	368

表2. 従業員の健康状態と規模別事業所数

	49～	39～	29～	19～	9～	計	
①入院中	イ. 一般の疾病	9	2	1	0	23	23
	ロ. 生活習慣病	2	0	1	0	4	4
	ハ. 心の病気	0	0	0	0	2	2
②通院中	イ. 一般の疾病	31	20	7	0	98	98
	ロ. 生活習慣病	20	15	2	0	50	50
	ハ. 心の病気	3	1	0	0	8	8
③病院等で相談・指導等	9	8	16	1	2	36	
④元気に働いている	62	50	19	7	7	145	
無回答	1	1	0	0	0	2	
	143	124	73	19	9	368	

表3. 心のメンタルヘルス対策の実施状況

	49～	39～	29～	19～	9～	計
(1)日、時を決める	2	1	0	0	0	3
(2)相談体制はある	31	29	11	5	0	76
(3)スタッフ対応	6	4	4	1	1	16
(4)講話など	9	3	3	1	7	23
(5)対策なし	91	82	50	12	0	235
無回答	4	5	5	0	1	15
	143	124	73	19	9	368

表4. 時間外労働別、年齢別労働者数

	全体	～20代	30代	40代	50代	60代～	(年齢不詳)
1. 毎日	184	42	44	46	47	5	0
2. 週に3～4日	222	57	63	55	38	8	1
3. 週に1～2日	351	76	82	114	68	10	1
4. 月に1～2日	331	69	78	100	74	10	0
5. ほとんどない	695	133	143	202	179	38	0
無回答	23	4	5	5	4	4	1
計	1806	381	415	522	410	75	3

表5. 疾病等の年齢別労働者数

	全体	～20代	30代	40代	50代	60代～	(年齢不詳)
1. 病気で治療中	123	13	15	41	49	5	0
2. 病気がちで時々薬	41	8	11	7	10	4	1
3. もともと身体が弱く不安	15	3	2	6	4	0	0
4. 最近疲れやすい	667	119	167	197	167	15	2
5. 元来元気で健康	954	238	219	268	178	51	0
無回答	6	0	1	3	2	0	0
計	1806	381	415	522	410	75	3

表6. 年齢別健康診断結果

	全体	～20代	30代	40代	50代	60代～	(年齢不詳)	
1. 要治療	126	9	24	35	48	10	0	
2. 要精密	183	20	51	59	48	5	0	
3. 要指導	①生活指導	100	11	21	30	34	4	0
	②食事指導	113	10	16	32	48	7	0
	③両方	117	10	11	47	41	7	1
4. 正常	1077	289	273	298	174	42	1	
無回答	90	32	19	21	17	0	1	
計	1806	381	415	522	410	75	3	

表7. 自覚症状別、勤務状況別労働者数

		勤務状況								総計
		A		B		C		D		
自覚症状	I	439	(72%)	138	(23%)	30	(5%)	5	(1%)	612
	II	255	(40%)	252	(39%)	106	(17%)	29	(5%)	642
	III	102	(23%)	166	(37%)	135	(30%)	45	(10%)	448
	IV	14	(13%)	27	(26%)	26	(25%)	37	(36%)	104
総計		810		583		297		116		1806

V まとめ

- 1 事業主368件に、労働者1806人について集計した。
- 2 時間外労働（1日に2時間以上）は、週に3～4日以上ある事業所が23%に認められた。
- 3 従業員で入院している者は8%に、通院している者は43%の事業所に認められた。
- 4 メンタルヘルス対策については、事業所の64%が対策ゼロであった。
- 5 労働者で、時間外労働（1日に2時間以上）を週に3～4日以上している者は22%認められた。
- 6 労働者の90%が毎年健康診断を受けていたけれども、その結果は7%が要治療、10%が要精密、18%が要指導で、60%の労働者は正常であった。
- 7 自覚症状は、60歳代以外、年齢による大きな差を認めなかった。
- 8 勤務状況の負担が強いほど自覚症状も強かった。
(有意差あり：P<0.01)